

2018年1月4日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

年賀式 永井浩二グループCEO発言要旨

2017年は堅調なグローバル経済と企業業績に支えられ、日経平均は26年ぶりに一時23,000円台を回復しました。しかしながら、ポピュリズムの台頭や地政学リスク等、先行きについては依然、大きな不確実性をはらんだままです。

当社は現在、2020年までの長期経営ビジョン「Vision C&C」の達成に向けて全力で取り組んでいますが、そのさらに先5年10年の時間軸で考えた場合、我々のビジネスを根底から変える構造変化が生ずることを想定し、今から対応を進めなければ野村の持続的成長はない、と昨年より申し上げてきました。その持続的成長の柱となるのが、「人生100年パートナー」としてのファイナンシャル・ジェロントロジーや資産形成層への取り組みであり、本年1月に立ち上げたマーチャント・バンキング・ビジネス等です。またデジタル・イノベーションのさらなる推進や、中国での将来的な総合証券ビジネスの展開も不可欠です。今年は、将来を見据えた新しいビジネスや市場開拓に向けて、しっかりとその礎を築いていきたいと考えています。社員の皆さんには、このことを念頭に置いて、しっかりと取り組んでもらいたいと思います。

最後に、この度「目指すのは、“今”以上の“未来”。」を、野村グループ企業理念を象徴するコーポレート・スローガンとして決めました。お客様や社会に対して明快であり、現状に甘んずることなく、今よりもっと良い未来にしたいという「あすなる精神」を、若い世代の人たちにも共感できる平易な言葉で表しています。

野村の未来を築き上げるのは、我々、一人ひとりです。目指すのは、“今”以上の“未来”。皆さん、どうぞ本年もよろしく申し上げます。

以上